



てき丸君News 第50号

発行: 公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

https://www.zensanpairen.or.jp

第39回理事会を開催 定時総会提出議案など審議

当連合会の第39回理事会を5月22日に開催しました。

今回の理事会では、6月15日に第8回定時総会の開催を控えていることから、総会に提出する議案や全国産業廃棄物連合会会長表彰の候補者を中心に、総会の運営等にかかわる議題が審議されました。

総会議案については、第1号議案の「平成29年度事業報告及び決算承認の件」のほか、今回の総会が役員改選に当たることから第2号議案として「任期満了に伴う役員改選の件」の提出が了承されました。

また、当連合会の名称変更に伴う規程・規則の一部変更を審議したほか、産業・資源循環議員連盟総会の報告（議連総会の模様は ページに掲載）、新事業の「マニフェスト・スマートプラス」の状況、産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式の作成、平成30年度の人材育成事業などの説明・報告を行いました。

●連合会会長表彰 総勢397名が受賞●

全国産業廃棄物連合会会長表彰の候補者については、理事会での審議の結果、総勢397名の方々が受賞されることとなりました。受賞者の皆様、誠にありがとうございます。

表彰種類	受賞者数
功労者表彰	25
地方功労者表彰	80
優良事業所表彰	21
地方優良事業所表彰	135
優良従事者表彰	136
計	397

第8回定時総会及び関係行事開催概要

◆開催日 平成30年6月15日（金）

◆場 所 明治記念館
東京都港区元赤坂2-2-23
TEL 03-3403-1171

◆行事時間帯・会場

・総会及び表彰式 13:30~16:15
会場 蓬莱の間

・講演会 16:40~17:40
会場 蓬莱の間
演題 これからの健康管理
～運動と脳トシで活性させましょう～
講師 小久保 晴代 氏
フリーアナウンサー
健康・防災・安全アドバイザー

・懇親会 18:00~20:00
会場 富士の間

●講演会は「これからの健康管理」テーマに●

定時総会閉会後の講演会は、フリーアナウンサーの小久保晴代（こくぼ はるよ）さんを講師に迎え、「これからの健康管理～運動と脳トシで活性させましょう～」のテーマで行うこととなりました。小久保講師は、フリーアナウンサーのほか、健康管理士などの資格を取得されており、健康・防災・安全アドバイザーとしても活躍されている方です。皆様ご期待ください。

委員会・部会便り

●最終処分部会運営委員会●

平成30年度第1回最終処分部会運営委員会を5月14日に開催しました。本委員会では「産業廃棄物最終処分場の浸出水・放流水中POPs調査について」「産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式の作成」「産業廃棄物最終処分場維持管理マニュアルの改訂」「最終処分場維持管理技術研修会の開催」を議題として意見交換を行いました。「産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式の作成」では内容の最終確認を行い、第39回理事会（5月22日開催）に最終案を報告することとなりました。（調査部・福田）

●建設廃棄物部会混合廃棄物分科会●

平成30年度第1回混合廃棄物分科会を年5月17日に開催しました。議題は以下のとおり。議題の「石膏ボードの特定建設資材への指定」について、昨年9月に建設廃棄物部会（部会長：浜野）は国交省、環境省に要望書を提出しています（当該要望書は連合会HPを参照ください <https://www.zensanpairen.or.jp/activities/demand/>）。

混合廃棄物分科会では、本要望の実現に向けて引き続き関係機関に働きかけていくこととなりました（議題）

- ・石膏ボードの特定建設資材への指定
- ・設置許可規模未滿施設
- ・廃棄物処理法政省令改正と連合会要望 他

（調査部・日浦）

●建設廃棄物部会運営委員会●

平成30年度第1回建設廃棄物部会運営委員会を5月21日に開催しました。

議題は「建設汚泥リサイクル製品評価のための自主基準」でした。自主基準作成WGで作成した自主基準の改訂案について意見交換が行われ、承認されました。また、分科会活動報告では、「石膏ボードの特定建設資材への追加要望」、「建設汚泥リサイクル製品事例集の改訂」、「東京都の環境物品等の活用に係る工事成績評定の当面の取扱い」について各分科会座長から報告がありました。次回は6月29日に開催する予定です。

（調査部・戒能）

●安全衛生委員会●

平成30年度第1回安全衛生委員会を5月29日に開催しました。議題は「各正会員における平成29年度の会員企業取組状況調査の結果」、「各正会員における平成30年度の労働災害防止計画」、「各委員の所属地域における安全衛生事業の取組状況」、「安全衛生講師の打合せ会」についてでした。

厚生労働省が公表した平成29年の当業界における休業4日以上の死傷者数（1月～12月の速報値）が1,361人となり、対前年比5%（41人）の増加となったことを受けて、非会員企業に対して休業4日以上の死傷者数が40人以上の都道府県の正会員会長と連合会安全衛生委員の数名に出席いただき、安全衛生活動の取り組みを強化するための会議を6月15日に開催する第8回定時総会にあわせて開催することとしました。

（調査部・戒能）

●法制度対策委員会●

平成30年度第2回法制度対策委員会を5月31日に開催しました。当日は、①振興法案大綱のうち「事業者団体」に関する規定の取扱等について、②優良認定基準のうち「事業の透明性」に係る公表事項の更新頻度について、③電子マニフェスト義務付等に関する環境省への照会事項について、の3議題を中心に検討しました。

議題のうち、振興法案大綱の「事業者団体」の規定については、委員会としての考え方を7月10日に開催する第40回理事会に報告することとしました。（総務部・古川）

官公庁関係ニュース

【環境省】

◇特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律施行規則の一部を改正する省令案に対する意見の募集（パブリックコメント）について

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=195180012&Mode=0>

協会便り

●平成30年度中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議開催●

5月21日午後1時30分より、三重県四日市市内のプラトンホテル四日市において、平成30年度中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議が開催され、中部四県(岐阜、静岡、愛知、三重)の産業廃棄物協会の会長・理事長等役員、環境省中部地方環境事務所、中部管区管内の海上保安本部関係者、中部四県の県・市等行政関係の担当者46名が出席し、産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について意見交換を行いました。



会議では環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課及び各県の行政や関係機関から産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について説明があり、不法投棄件数、投棄量の推移、不法事案の報告や委託業者による休日・夜間の監視、カメラによる監視、またヘリコプターによるスカイパトロールやドローンによる情報などについて報告がありました。

廃棄物処理法の累次の改正による規制の強化を始め、不法投棄等の未然防止・拡大防止のための様々な施策の実施等により、不法投棄等の新規判明事案の件数は減少してきていますが、不法投棄等の事案を撲滅するには至っていない状況です。

●埼玉県産業振興協会「女性活躍推進のポイント」を発刊●



当協会では、女性が働くフィールドの拡大を目指し、女性活躍推進に先進的に取り組む会員企業の紹介や埼玉県産業労働部ウーマノミクス課が推進するプロジェクトを紹介する小冊子を発行しました。この小冊子は、県の支援により作成したものです。

●INDUST 6月号特集「高齢社会の廃棄物処理業を考える」●

若年層の従業員不足や従業員の高齢化を理由にロボットや外国人、女性の起用が各分野で進んでいます。廃棄物処理事業でも若手の人材を求める声が聞かれるのと同時にベテランの再雇用を検討する企業も増えていますが、一方では、戸別収集や遺品整理をはじめとした不要物の処分など、高齢者を対象にした細やかなサービスを取り入れる企業も増えていきます。

本特集では収集運搬事業者を中心に従業員の高齢化への対応や、従業員の高齢化を支える技術、また、戸別収集や不用品片付けなど高齢者向けサービスについて探ります。
(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (6月13日~7月26日)

【6月】

- 13日 収集運搬部会運営委員会
- 14日 青年部協議会第19回通常総会
- 15日 第8回定時総会
- 27日 新事業検討ワーキンググループ
- 29日 建設廃棄物部会運営委員会

【7月】

- 10日 第40回理事会
- 26日 全国正会員事務局責任者会議

産業・資源循環議員連盟総会を開催

5月22日午前11時より衆議院第一議員会館国際会議場において、平成30年度産業・資源循環議員連盟総会が開催されました。

議連総会では、はじめに昨年12月に新たに会長に就任された田中和徳衆議院議員が挨拶され、「産業廃棄物処理業は、国民の生活環境の保全や循環型社会形成の一翼を担う重要な産業である。産業廃棄物の適正処理・リサイクルを推進するとともに、その担い手となる産業廃棄物処理業の資質の向上・社会的役割の一層の強化が必要であり、議員連盟として産業廃棄物業界をしっかりと支える体制を構築していきたい」との考えを述べました。

続いて、環境省環境再生・資源循環局長の縄田正氏、国土交通省大臣官房技術参事官の奥谷正氏より各省庁が取組んでいる状況を含め挨拶がありました。また、全国産業資源循環連合会の永井会長及び全国産業資源循環連合会政治連盟の國中理事長が挨拶しました。

総会の主な議事は以下の通りです。

1. 主な役員（別掲）

2. 産業・資源循環議員連盟活動方針

- ①資源循環の促進のための廃棄物処理法が果たす役割に関する調査研究、②資源循環の促進のため産業廃棄物処理業の振興に関する調査研究、③産業廃棄物処理に係る政府予算・税制に関する検討、④上記について政府と産業廃棄物関連団体等との情報共有や意見交換の場の設定

以上総会において承認され今後、具体的に活動に取り組むことになりました。

その後、環境省環境再生・資源循環局、縄田正局長、山本昌宏次長より現在検討されている第4次循環型社会形成推進基本計画(案)について説明、出席議員の先生方よりの挨拶、省庁及び業界団体との意見交換が行なわれました。当日の議連総会の出席者は次のとおりです。（順序不同、敬称略）

【産業・資源循環議員連盟議員】

○衆議院議員：田中和徳、渡辺博道、望月義夫、井上信治、あかま二郎、北村誠吾、井林辰憲、小倉将信、伊東良孝、石川昭政、笹川博義、福田達夫

○参議院議員：片山さつき、渡辺美知太郎、溝手顕正

○代理出席：野田毅、岸田文雄、森栄介、高市早苗、鶴保庸介、吉野正芳、加藤勝信、北川知克、鈴木俊一、ほか30名

【環境省環境再生・資源循環局】縄田正局長、山本昌宏次長、近藤智洋審議官、土居健太郎総務課長、成田浩司廃棄物規制課長、小笠原靖循環型社会形成推進室長、相澤寛史制度企画室長、松本行央廃棄物規制課課長補佐、工藤俊祐廃棄物規制課課長補佐

【国土交通省】奥谷正大臣官房技術参事官、田中倫英土地・建設産業局建設業技術企画官、直原史明総合政策局環境リサイクル企画室長、古賀文雄土地建設産業局建設業課課長補佐

【全国産業資源循環連合会】会長：永井良一 副会長：城田裕司、橘正則、武田全弘、越生昭徳、東條昭二、大野羊逸、専務理事：森谷賢

事務局：桑田総務部長、香川事業部兼調査部部長、古川総務部担当部長

【全国産業資源循環連合会政治連盟】理事長：國中賢吉 副理事長：藏本忠男、高橋俊美、

理事：川本義勝(業法担当)、佐藤俊彦、杉田昭義、木村亮一、浜野廣美、篠原隆博、白石旬代理泉原保二

監事：小林増雄 事務局長：土井洪二

(政治連盟事務局・土井)

産業・資源循環議員連盟役員名簿

(在職年数順)

平成30年6月5日現在

顧問	野田 毅 (衆・熊本2)	川崎 二郎 (衆・三重2)	伊吹 文明 (衆・京都1)	二階 俊博 (衆・和歌山3)
	甘利 明 (衆・神奈川13)	逢沢 一郎 (衆・岡山1)	石坂 茂 (衆・鳥取1)	森 英介 (衆・千葉11)
	山本 有二 (衆・高知2)	鈴木 俊一 (衆・岩手2)	山本 公一 (衆・愛媛4)	塩崎 恭久 (衆・愛媛1)
	岸田 文雄 (衆・広島1)	高市 早苗 (衆・奈良2)	塩谷 立 (衆・静岡8)	竹下 亘 (衆・鳥取2)
	柳本 卓治 (参・大阪5)	世耕 弘成 (参・和歌山5)		
会長	田中 和徳 (衆・神奈川10)			
会長代行	渡辺 博道 (衆・千葉6)			
会長代理	望月 義夫 (衆・静岡4)	井上 信治 (衆・東京25)		
副会長	鶴保 庸介 (参・和歌山5)			
	馳 浩 (衆・石川1)	竹本 直一 (衆・大阪15)	佐藤 勉 (衆・栃木4)	山本 拓 (衆・北・北陸圏)
	金田 勝年 (衆・秋田2)	森山 裕 (衆・鹿児島4)	北村 誠吾 (衆・長崎4)	吉野 正芳 (衆・福島5)
	梶山 弘志 (衆・茨城4)	松野 博一 (衆・千葉3)	小淵 優子 (衆・群馬5)	石田 真敏 (衆・和歌山2)
	加藤 勝信 (衆・岡山5)	宮沢 洋一 (参・広島5)	中川 雅治 (参・東京5)	山田 俊男 (参・比例5)
	佐藤 信秋 (参・比例5)			
幹事長	片山 さつき (参・比例5)			
幹事長代行	後藤 茂之 (衆・長野4)			
副幹事長	赤澤 亮正 (衆・鳥取2)	坂本 哲志 (衆・熊本3)	北川 知克 (衆・大阪12)	宮下 一郎 (衆・長野5)
	松村 祥史 (参・熊本5)	福岡 資麿 (参・佐賀5)	塚田 一郎 (参・新潟5)	
事務局長	あかま 二郎 (衆・神奈川14)			
事務局長代行	中西 祐介 (参・徳島・高知5)			
事務局次長	大西 英男 (衆・東京16)	井上 貴博 (衆・福岡1)	穴見 陽一 (衆・大分1)	井林 辰憲 (衆・静岡2)
	小倉 将信 (衆・東京23)			
常任幹事	平口 洋 (衆・広島2)	とかしきなおみ (衆・大阪7)	木原 稔 (衆・熊本1)	牧原 秀樹 (衆・埼玉5)
	園浦 健太郎 (衆・千葉5)	鈴木 馨祐 (衆・神奈川7)	伊東 良孝 (衆・北海道7)	
	石井 浩郎 (参・秋田5)	岩井 茂樹 (衆・静岡5)	吉川 ゆうみ (参・三重5)	
幹事	福山 守 (衆・比例・西園)	工藤 彰三 (衆・愛知4)	門 博文 (衆・和歌山1)	山下 貴司 (衆・岡山2)
	堀内 詔子 (衆・山梨2)	笹川 博義 (衆・群馬3)	福田 達夫 (衆・群馬4)	大野 敬太郎 (衆・香川3)
	石川 昭政 (衆・茨城5)	園場 幸之助 (衆・沖縄1)	斎藤 洋明 (衆・新潟3)	宮川 典子 (衆・北・南関東)
	大西 宏幸 (衆・大阪1)	大隈 和英 (衆・大阪10)		
	酒井 庸行 (参・愛知5)	馬場 成志 (参・熊本5)	舞立 昇治 (参・鳥取5)	渡辺美知太郎 (参・比例5)
	小越 隆史 (参・滋賀5)			

平成30年度産業廃棄物処理実務者研修会～基礎コース～

廃棄物処理法の政省令改正の内容についても紹介します！

※本研修会は、継続学習制度（CPDS）の講習会
（一般社団法人全国土木施工管理技士連合会）に認定されています。

1. 目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な廃棄物処理法、委託契約、マニフェスト（産業廃棄物管理票）、帳簿等の産業廃棄物の幅広い基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再認識をしていただくことを目的としております。

また、来年2月17日に開催する平成30年度産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）の受検対策としても役立ちます。

2. 受講対象者：排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

3. 開催期日

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	神奈川県	平成30年7月11日(水)	かながわ労働プラザ	150
2	山形県	平成30年7月18日(水)	ヒルズサンピア	100
3	千葉県	平成30年7月19日(木)	千葉県自治会館	140
4	鹿児島県	平成30年8月1日(水)	マリnpalesかごしま	120
5	兵庫県	平成30年8月8日(水)	兵庫県私学会館	120
6	滋賀県	平成30年8月24日(金)	ピアザ淡海	150
7	三重県	平成30年10月15日(月)	四日市商工会議所	150
8	熊本県	平成30年10月19日(金)	メルパルク熊本	120
9	群馬県	平成30年11月 8日(木)	前橋問屋センター	150
10	沖縄県	平成30年11月27日(火)	カルチャーリゾートフェストーン	150
11	東京都	平成31年2月5日(火)	ベルサール西新宿	150

4. 研修内容（受付は午前9：30からです。）

10:00	12:00	12:50	13:10	14:30	16:00	16:30
産業廃棄物処理の基礎	昼休み	質疑応答	産業廃棄物の委託処理 と委託契約	産業廃棄物管 理票・帳簿	質疑応答・ 修了証の交付	

5. 受講料（テキスト代含む）：7,200円（税込）

6. 受講申込・問合せ先

受講を希望される方は、(公社)全国産業資源循環連合会のHP (<https://www.zensanpairen.or.jp>) から
のインターネット申込み又は受講申込書を下記問い合わせ先より入手いただきFAXにてお申込下さい。

なお、各会場は、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<問合せ先> (公社)全国産業資源循環連合会 事業部

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F

TEL 03-3224-0811 <https://www.zensanpairen.or.jp>

7. 協力機関

(一社)山形県産業廃棄物協会、(公社)群馬県環境資源創生協会、(一社)千葉県産業資源循環協会、
(一社)東京都産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業資源循環協会、(一社)三重県産業廃棄物協会、
(一社)滋賀県産業廃棄物協会、(一社)兵庫県産業廃棄物協会、(一社)熊本県産業資源循環協会、
(一社)鹿児島県産業廃棄物協会、(一社)沖縄県産業廃棄物協会